

サンフレツォリズム～タイ人向けサッカー観戦&広島堪能ツアーの提案～

県立広島大学和田ゼミ

○清田 真奈 田邨 未奈 渡邊有紀子

1. 研究の背景と目的

誰もが一度は観たことあるいはプレイしたことがあるサッカー。ロシアW杯でハンパないパフォーマンスを見せた日本代表の記憶も新しい。その日本には J リーグがある。1993年の発足以来、「百年構想」を掲げて、サッカーを通してあらゆるスポーツを老若男女が楽しめる国づくり、地域づくりをめざしている。最近では観客がより深くサッカー観戦を楽しめるように、スタジアム改革を進めている。スポーツの楽しみ方には、スポーツ活動を自ら「する」、スポーツのチームやイベントの運営などを「支える」に加えて、プロスポーツなどを「観る」方法がある。Jリーグの「百年構想」は、これらの楽しみ方を各地域で実現することを目指しているが、近年は地域住民のみならず、旅行者が旅先でスポーツを「する」「観る」というスポーツツーリズムも盛んになっている。スポーツツーリズムは地域のスポーツ観光資源を最大限に生かし、国内外から集客することで、インバウンド観光の推進にもつながることが期待される。

県立広島大学の立地する広島市にも J リーグ 1 部に加盟するプロチーム「サンフレッチェ広島」がある。直近 5 年間で 3 回リーグ優勝するなど、優れた競技成績をあげているが、ホームスタジアムである「エディオンスタジアム広島」は、行政施設による利用制約、屋根の未整備や老朽化に加え、陸上競技等との併用、郊外に立地していることもあって、特に若者の集客に苦戦している。そのためサンフレッチェ広島は、「まちなかスタジアムプロジェクト」(まち STA! プロジェクト)を立ち上げ、広島市中心部に広島らしい多機能複合型のサッカースタジアムを建設しようと活動している。そのスタジアムでは、サッカーをより臨場感を得て観戦することに加え、ショッピングやイベントを楽しめるように構想されており、広島市民や広島を訪れた旅行者がサッカー観戦を中心に、都市生活・都市観光を楽しむ「文化」の拠点となることが期待されている。

しかし、拠点(ハード)の整備だけでは、真のサッカー文化は醸成できない。人々がサッカーや都市生活・都市観光を楽しむ仕掛けやプログラム、それらのプロモーションといったソフトの取組みも必要である。私たち県立広島大学和田ゼミ生は、こうした認識のもと、2016 年度からサンフレッチェ広島と共同で、若者や女性をメインターゲットとする集客促進活動に取り組んでいる。2016 年度のマーケットリサーチ、2017 年度のイベント企画・運営補助に続き、3 年目の 2018 年度は若者や女性のサンフレッチェ広島への関心を高め、スタジアム観戦を促すことを目指して、インスタキャンペーンと選手の素顔(魅力)を発行する冊子「スガオサンフレ」の制作に加え、「タイの英雄」ティーラシン選手の加入をきっかけとしたタイ人観光客(観戦者)の集客促進案を検討している(本研究)。

広島県や広島市は現在、インバウンド観光の推進に力を入れている。その中で従来から来訪者数の多い欧米人に加えて、最近ではアジアからの集客に力を入れたり、宿泊者数の増加を目指したりする取組みを推進している。タイに関しては、バンコク日本博でブース出展を行い、観光PRに加えてバンコク・広島直行便の運航に向けた取組みを始めている。

以上を踏まえて本研究は、広島市民だけでなく広島を訪れる国内外からの観光客も広島でスポーツや観光などを楽しむことのできるスポーツ文化を醸成する一助として、タイ人向けのサッカー観戦と広島観光を堪能できるツアープランの企画・提案を通して、サンフレッチェ広島をメインコンテンツとしたインバウンド観光(サンフレツリズム)の成立可能性を検討することを目的とする。

2. 研究の方法と結果

(1) 研究対象

ア. ニーズ(マーケットイン)

- a) タイ人観光客…タイ人は多くの人が SNS を利用しているが、文字はほとんど読まず、写真しか見ない。タイで一番人気のスポーツはサッカー。最近ではサイクリングを楽しむ人も多い。

イ. シーズ(プロダクトアウト)

- a) サンフレッチェ広島…広島市に本拠をおくJリーグ1部に所属するプロチームで、直近5年間のうちに3回リーグ優勝している。
- b) 広島都市圏の観光資源…2つの世界遺産(原爆ドーム・厳島神社)と多様な食文化があり、海外客は欧米からの観光客がメイン。

(2) 研究方法

ア. 資料調査

項目	期日	調査対象
タイ人のレジャー動向	5月15日	サッカー観戦/スポーツ・健康/グルメ/メディア・コンテンツ/旅行/SNS
タイ人に人気の観光地	5月29日	北海道/新潟/山梨/岐阜/大阪/佐賀
スポーツツアーの商品例	6月12日	香川真司/FCバルセロナ/チャナティップ/大谷翔平/大相撲

イ. ヒアリング調査

対象	期日	主な聴取内容
インバウンド受入ビジネスフェア参加企業((株)チーム・エムツー/ひろしまきもの遊び/MATHA 他)	7月4日	各企業の概要/最近のインバウンドの傾向 本プランへの協力可能性
広島県空港振興課	7月20日	チャーター便の運航/タイ人の観光ニーズ

中国地域観光推進協議会	7月20日	タイ人の観光ニーズ
サンフレッチェ広島本社	8月3日	ティーラシン選手の好きなものやよく行く場所/サンフレッチェ広島のアジア戦略
広島タイ交流協会	8月3日	タイ人の観光ニーズ/SNS利用/ 本プランへの協力可能性
NPO 法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ	8月3日	横川商店街やゲストハウスの現状/ 本プランへの協力可能性
横川商店街組合	8月23日	横川商店街の振興活動/イベント情報/ 本プランへの協力可能性

ウ. アンケート調査

対象	期日	調査内容
タイ人(バンコク日本博2018来場者)	8月31日 ～9月2日	関心のある広島観光スポットの調査
県立広島大学	実施中	タイ旅行の経験/タイ旅行のニーズ

3. 提言・まとめ

以上の調査結果をもとに、「タイ人向けサッカー観戦&広島堪能ツアー」を提案する。

(1) ツアー概要

- ア. 商品名: 「タイ人向けサッカー観戦&広島堪能ツアー」
- イ. 企画=県立広島大学和田ゼミ, 催行=旅行代理店
- ウ. 時期: 4月と10月の年2回(タイ人の休暇と花がきれいな季節であるため)
- エ. 定員: 各回80人(ガイドを含む)(最小催行人数40人)
- オ. 価格: 86,000円/人
- カ. ガイド: 8人(広島タイ交流協会に派遣依頼)

(2) ターゲット

サッカーが好き, あるいは「タイの英雄」ティーラシン選手の試合を観るために広島を訪れたいというタイ人の若者等

(3) 商品の特色・セールスポイント

- ・憧れのティーラシン選手と触れあえる
- ・自分の関心に合わせて広島を楽しむ

(4) 旅程(案)

1日目(水) タイ・バンコク→(LCC)→関西国際空港→大阪(泊)

2日目(木) JR新大阪駅→(新幹線)→JR広島駅

*タイ・バンコクから広島への直行便が運航するようになれば, タイ・バンコク→(直行便)→広島空港(木曜到着を想定)

→神楽門前湯治村(神楽の衣装を着て記念撮影(インスタ映え)+昼食(夜又う

どん他)) →吉田サッカー公園 (サンフレッチェ広島の練習見学(ティーラシ
ン選手との写真撮影, サイン会付)) →広島市内のお好み村(夕食)

*広島市内のゲストハウス泊

3日目(金) (4コースから選択)

Aコース 日本文化体験コース(3h) (協力:ひろしまきもの遊び)

縮景園で着付け体験+日本文化体験(お茶, 香り, 筆, 折り鶴から選択)

Bコース 宮島食べ歩きコース(3h)

宮島観光(食べ歩き・ショッピング)

Cコース 大久野島うさぎコース(6h)

大久野島でうさぎと触れあう

(インスタ映え)

竹原の町並み散策付

Dコース 世羅高原花畑コース(6h)

世羅高原の季節の花畑(芝桜, コスモス他)を楽しむ(インスタ映え)

⇒夜は横川商店街の飲食店で広島の酒と宴を楽しむ

*広島市内のゲストハウス泊

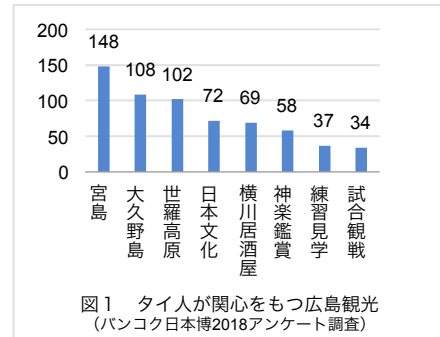
4日目(土) エディオンスタジアム広島でサンフレッチェ広島の試合観戦

試合終了後はゲストハウスのBARで食事と交流を楽しむ

*広島市内のゲストハウス泊

5日目(日) JR広島駅→(新幹線)→JR新大阪駅→関西国際空港→タイ・バンコク

*直行便が運航できるようになれば, 広島空港→(直行便)→タイ・バンコク



(5) 期待される効果

ア. サンフレッチェ広島主催試合の観客数の増加, タイ企業による協賛等に伴う収入増加とグローバル経営の実現

イ. 広島における経済効果の創出(直接経済効果は約852万円と試算)

ウ. 口コミやSNSを通じたPRによる広島の知名度向上とインバウンド観光の発展

エ. バンコク・広島チャーター便の定期運航化と観光客数の増加

オ. 広島でスポーツ観戦と観光を同時に楽しめるモデルプラン(プロトタイプ)の確立

(6) 実現に向けた課題

広島・バンコク直行便を定期運航化するためには, タイから広島に誘客するインバウンドだけではなく, 広島からタイに送客するアウトバウンドが必要である。そのため, サンフレッチェ広島がタイで行うトレーニングキャンプの見学ツアー, 大学生向け卒業旅行等プロモーションを通じて, 広島からタイへの送客を活発化させる。

(7) 実現方法

- ・旅行代理店に催行を提案・働きかけ(予定)
- ・関係機関への協力呼びかけ(予定)